

第55回 評議員会決議

協会は5月18日の第55回通常評議員会で安倍政権が狙う社会保障費削減と憲法9条改正に反対する2決議を採択した。全文は次の通り。

歯科界は政府の低歯科医療費政策に苦しめられながらも、国民に良質な歯科医療を提供してきた。子どものDMFT指数や「8020」達成者の割合を飛躍的に改善させたことは歯科医療関係者の努力の賜物といえる。

安倍政権の社会保障費削減を 許さず、「保険で良い歯科医療」 を发展させ国民の期待に こたえる歯科医療を実現しよう

歯科医師は保険診療に厳しい制約が課せられ、患者は受療権を侵害されている。診療報酬は長期にわたり基礎的技術が抜本的に改善されず、医院経営の安定を揺るがせている。理解しがたい施設基準

によって診療報酬の二物二価などが生じ、医療機関の格差拡大と再編・淘汰が進められた。加えて、2018年の診療報酬改定では基本診療料に院内感染防止対策の費用が組み込まれ、懲罰的な減算の仕組みまでもが導

ている。これは、全世代に負担を押し付ける消費税増と社会保障の大幅な改悪をセットで狙うものに他ならない。アベノミクスの6年間で大企業や富裕層ばかりが「豊か」になり、国民の貧困化が進んだ。

入された。

経済的理由による受診控えが広がり、病気になるも患者にない国民が増えている。

今後、安倍首相は「全世代型社会保障」を口実に、消費税を10%に引き上げるとを予定し

「富の遍在を解消し、社会保障費削減政策を是正しなければ、国民の歯科医療への期待はこたえられない。私たち歯科医師は、社会保障を充実させ、「保険で良い歯科医療」を发展させるために、その先頭に立つて力を尽くす決意を表明する。

5月3日、72回目の憲法記念日を迎えた。憲法施行後、国民が一度も戦争の惨禍に見舞われなかったことには、計り知れない重みがある。

憲法は、アジア・太平洋戦争の惨禍と軍国主義への深い反省にもとづいて

立憲主義——
憲法とは国民が権力者を縛るもの——を

憲法を守り・生かし、 安倍改憲を許さない

基盤に据え、豊かな人権規定を設け、前文には平和的生存権をうたい、第9条には戦争の放棄と戦力の不保持、交戦権の否認という、世界でも類い稀な徹底した恒久平和主義を定め、国が

「戦争する国」へと作り変えられようとしている。

憲法記念日を前に朝日新聞社が実施した憲法に関する全国世論調査では、「憲法を変える機運は高まっている」が72%、

募集、採用の悩みを解決

経税部 連続セミナー開く

経税部は、「働き方改革関連法」が4月に施行されたことを受け、「募集・採用」をテーマに5月18、19日の2日間

た。医科協会との共催で、延べ26人が参加。講師は社労士の堀口正三氏が務めた。

1日目は採用から退職に至るまでの基礎的事項を網羅的に解説、2日目は2つの設問を用いてのグループワークで、参加者同士が自身の経験もふまえながら意見交換を行なった。堀口氏は、近年の求人重視される項目として、給与の他、休暇

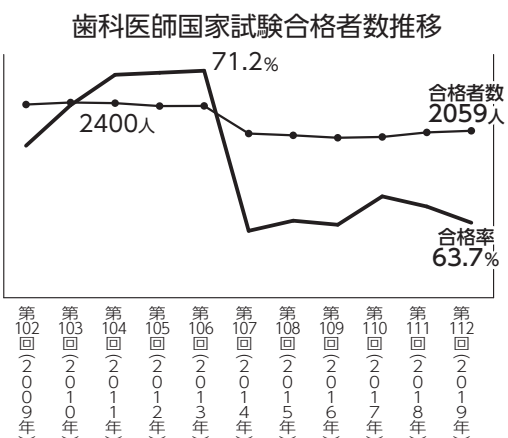


自院の様子や悩み事について互いに交流する参加者ら15月18、19日、保険医会館

数字で見る 歯科医療 ⑧

歯科国試

厚労省は3月18日、第112回(2019年)歯科医師国家試験の結果



3人に1人不合格

大学別の平均合格率は、国立で79・9%、公立で75・4%、私立59・0%。大学間で96・1%から、30・2%とばらつきがあるが、入試の偏差値が高いとされる国公立大学でも全11大学で合格率が9割を切った。ここ10年間の合格率の推移を見ると13年の71・2%をピークにその後は65%以下にとどまる。合格者数では、09年から13年の間は2400人前後で推移していた。しかし、14年に急落して以降、2000人前後にとどまっている。

365連休に向けて



大阪大学歯学研究科教授
天野 敦雄

私は休日が苦手である。昭和前半の精神、月火水木金金が私のDNAにインプリントされているのかもしれない。週末も大学に顔を出す。土日はキッパリ研究室に顔を見せない平成世代の目にはつまらない人生と映っていることだ。

そんな昭和な私に空前絶後の試験が訪れた。憲政史上初の10連休だ。長すぎる！しかし、私はここでひるんではならない。何故なら、遠からず来る365連休(サンデー毎日ともいふ)に立ち向かうため、休日に慣れ休日を愛さなければならぬのだ。そこで自らの課題を与えた。定年後を模して、連休は近所を過ごすこと。そして、絶対に大学には行かないこと。

課題の成否は後ほどにして、連休2日目は名古屋で開かれた日本医学会総会に参加した(これは課題対象外)。ここで医科歯科連携の令和の未来が見えたので、諸兄姉にご報告し上げたい。

日本医学会総会は、4年に1度のわが国最大の学会である。120周年の今回、史上



さて、冒頭の課題の成否はというと、ランニングやら登山を楽しむ、夕食は徒歩圏内の名店を妻と巡ったの10連食。365連休に向け模範的暮らし予行を果たしたのだ！しかし、課題は不達成。大学に2日も行ってしまった。DNAは急には変わらない。

特別講演は日本歯科医師会・堀憲郎会長と愛知県歯科医師会・内堀典保会長による2本立て。ところが、なかなか、停電により上越新幹線が不通となり、新潟におられた堀会長は名古屋入りできないとの連絡が！急遽、内堀会長が1人で2人分の講演を果たされた(見事な臨機応変力)。内堀先生は治療中心だった歯科医療の今後は、予防を中心に展開すべきであると熱弁され、予防歯科に籍を置く私の目頭は熱く潤んだのだ。